

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

医療機関コード	1315770011					
病院名	地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立大久保病院					
所在地	東京都新宿区歌舞伎町二丁目44番1号					
管理者氏名	院長 荻田達郎					
病床数	一般	療養	感染症	精神	結核	合計
	304床	0床	0床	0床	0床	304床
承認年月日	令和4年7月1日					

II 業務報告

対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	イ 紹介率65%以上、かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	$\text{①} / (\text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤}))$	77.1 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	4,882 人
	②初診患者数	10,740 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	3,040 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	1,370 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	$\text{⑦} / \text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤})$	88.6 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	5,611 人

2 共同利用の実績

(1) 共同利用の体制等

利用医師等登録制度の担当者役職	患者・地域サポートセンター 地域連携支援グループリーダー
登録医療機関数	561 件
うち開設者と直接関係のない医療機関の数	561 件

(2) 共同利用状況

共同利用を行った医療機関の延べ数	934 件
共同診療件数	212 件
高額医療機器共同利用件数	722 件
共同利用病床数	304 床
共同利用病床利用率	52.4 %
共同利用可能な医療機器	一般X線装置、CT、MRI、放射線治療機器（リニアック）、マンモグラフィ、アイソトープ検査、骨塩定量
共同利用可能な施設等	病床、病院内図書室、高額検査機器等全て共同利用の対象とする

3 救急医療の提供の実績

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	3,591 (3,038)
救急搬送以外の救急患者数	5,078 (2,209)
合計 (うち初診患者数)	8,669 (5,247)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 重症救急患者の受入体制

重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設	救急外来、手術室、HCU整備 検査及び画像診断等、24時間体制で実施可能
優先使用可能な病床数	8 床
専用病床数	0 床

(3) 通常の当直体制以外における重症救急患者の受入体制状況

通常の当直体制以外における体制確保の有無	有	
	常勤	非常勤
医師数	63人	0人
うち専従数	0人	0人
看護師数 (准看護師含む)	206人	23人
うち専従数	22人	1人
薬剤師数	15人	8人
うち専従数	0人	0人
診療放射線技師数	14人	6人
うち専従数	0人	0人
臨床検査技師数	15人	18人
うち専従数	0人	0人
臨床工学技士数	11人	1人
うち専従数	0人	0人
上記以外の従事者数	20人	34人

(4) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修体制

研修委員会の有無	有
研修委員会の名称	患者・地域サポートセンター運営委員会
研修プログラムの有無	有
研修指導者数	17 人
研修施設	①会議室：70.93㎡ テーブル・椅子・スライドプロジェクター・プロジェクター・マイクシステム・テレビ・パソコン ②図書室：66.78㎡ テーブル・椅子・シャウカステン・パソコン・プリンター ③患者・地域サポートセンター：93.69㎡ テーブル・椅子・パソコン・プリンター・プロジェクター・マイクシステム

(2) 研修実績

地域の医療従事者への研修会開催回数	27 回
うち医師以外の医療従事者を対象とした研修会	6 回
研修会延べ参加人数	1742 人
うち院外のための延べ参加人数	422 人
症例検討会の開催回数	0 回
医学・医療に関する講習会の開催回数	27 回
研修の内容	別紙：「R6医療従事者研修一覧」のとおり

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	事務局長
管理担当者	医事企画グループリーダー
診療に関する諸記録の管理方法	診療に関する記録は病院日誌、手術記録、看護記録、検査所見など多岐にわたり、病歴室や各部署、電子カルテサーバに分類・保管されている。関係部署が責任を持って管理し、必要時に迅速に閲覧できるよう体系的な運用体制が整えられている。
病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	病院の管理・運営に関する記録は、共同利用や救急医療の提供、研修会の実績、紹介患者の対応などを含み、各担当部署が分類・保管を行っている。診療情報管理室や患者・地域サポートセンターなどが閲覧・管理を行い、記録の体系的な運用が確保されている。

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	事務局長
閲覧担当者	医事企画グループリーダー
閲覧方法	診療情報管理室にて閲覧
前年度の総閲覧件数	3 件
閲覧者別延べ件数	医師 0 件
	歯科医師 0 件
	地方公共団体 0 件
	その他 3 件

7 委員会の開催実績

委員長の役職等	元都立病院長経験者	
委員数		26 人
	うち院外	19 人
委員会の開催回数	3 回	
委員会の概要	<p>第1回 大久保病院運営協議会 令和6年7月17日</p> <p>1 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 運営方針 ・病院の概要 ・令和5年度決算の概要 ・令和5年度 事業実績 <p>2 その他報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル、レスパイト入院について ・下り搬送受け入れ強化の情報提供について ・大久保病院地域医療ネットワーク (ID-Link) について ・消化器センターの開設について ・連携通信おおくぼについて <p>第2回 大久保病院運営協議会 令和6年12月 (書面開催)</p> <p>1 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度上半期事業実績 <p>2 その他報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保病院運営理念の制定 ・年末年始における救急医療体制の強化について ・泌尿器科医師による出張医療講演会 ・診療のご案内2024保存版 ・連携通信おおくぼ <p>第3回 大久保病院運営協議会 令和7年3月5日</p> <p>1 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の概要 ・令和6年度 事業実績 (4月～12月) <p>2 その他報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行透析の受入開始 ・総合診療科の外来開始 ・放射線治療患者の受入中止 ・大規模改修工事スケジュール (概要) ・大久保病院地域医療ネットワーク (ID-Link) の実績報告 ・連携通信おおくぼについて ・国際診療科の設置 	

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談室
主たる相談対応者	医療ソーシャルワーカー
相談件数	24,513件 件
相談の概要	<p>受診援助、入院援助、退院援助、療養上の問題調整、経済問題援助、就労問題援助、住宅問題援助、家族問題援助、日常生活援助、心理・情緒的援助 人権擁護 等</p>

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	病院機能評価3rdG:Ver. 3.0【(公財)日本医療機能評価機構】

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	医療連携広報誌の発行(地域医療機関向け連携通信) 年4回 ホームページ(患者及び地域医療機関向け広報、情報提供) 随時

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	有
退院調整部門の人員体制、取組状況等の概要	人員体制: 看護師9名、医療ソーシャルワーカー5名 取組状況: 患者・地域サポートセンターの設置、看護師および医療ソーシャルワーカーによる退院調整、関連機関への訪問。 退院後の療養体制に関する相談、医療機関や介護施設への転退院支援、各種制度の案内、経済的問題に関する相談、関係機関との連携、衛生材料や在宅医療機器に関する相談。

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	・地域連携クリティカルパスの運用を停止し、地域包括ケアシステムの指針に沿った、地域医療従事者等との情報共有システムの運用に切り替えた。 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組新宿区医師会が運用する「新宿きんと雲」(ITを活用した情報共有ネットワークシステム)に参画し、患者中心に多施設間の医療従事者が情報共有しながら在宅療養や病院等への受診をサポートしている。